

# 結婚記念日の夜

arohanakayama

(ここは、赤坂でも有名なフランス料理店。  
初老の男は、結婚記念日の夜を二人で過ごすために奮発してディナーの予約をしていた。約束の時間になっても現われない妻を静かに待っていた)

遅いですね、あの人はいつもそうです。

行動が鈍く、早くしなさいと怒ったところで変わらずマイペースな彼女。いくら注意してもその性格は直らないのです……まあ、いいでしょう、今夜くらいは許してあげることにしましょう。

何しろ今日は、結婚記念日ですからね。

(遅れること10分、妻が席にやってきた)

遅いじゃありませんか、一体何をなさっていたのですか？

化粧と服選びに時間がかかった？

化粧なんてしたところであなたの何処が変わると言うのですか？せいぜい、唇に紅が乗り、瞼の上が左官屋の壁塗りのように厚ぼったく塗り固められて、運動会の飴探し競争後のような白い顔になっただけでしょう、まあ、世間様にすっぴんを晒すのは、それはそれで非常に失礼な行為だとは思いますが。

それに服を選んだと言っても最終的に決まるのは、いつものお出掛け様のピンクー張羅のスーツと決まっているのですから、悩むだけ時間の無駄だってことをいい加減に理解した方がよろしいかと思えますよ。

おや、何をしているのですか、メニューなんか開いて。

料理はすでにコースと決まっているのです、私がすでに注文済みなので余計な事はしなくて結構です。

だから、あれが食べたいだなんて人様のテーブルを指差すんじゃない！ここは場末の居酒屋じゃないのですから。マナーってものを知らないのですか、恥ずかしい人ですね。

ワインですって？

ビールか焼酎しか飲んだことが無いあなたがワインを選ぼうだなんておこがましいと思いませんか、ワインの何を分かって言うのですか？ワインがどこの国で作られているのか、どんな種類があるのか答えてみてください、答えられますか？

実家で作ったことがあるですと？

それはぶどう酒って言うのです。

まるで別物じゃないですか、あんなものは梅酒と変わらない安酒です。頼みますから他所でそんな恥ずかしい事を口走らないでくださいね。

……いも焼酎など置いているわけがないでしょう？わざと言っているのですか？それはあなたのジョークなのですか？でしたらあえて言いますが笑えません。ここはフランス料理店です、あなたはパスタのお店でうどんを注文するのですか？しないでしょう？皆まで言わせるんじゃないありません。

ほらほら、ウェイターが私の選んだワインを持ってきたでしょう、私に全てを任せておけばよろしいのです。

……グラスは持たなくていいのです。

注いでくれるのを待てばいいのです。

何故、ウェイターからピンを奪い取ろうとするのですか？私に注ごうとしなくてもいいのですって！

今日は、二人の結婚記念日です。

せっかくですから、二人のこれまでの思い出話を語り合うことにしましょう。

なになに？新婚旅行で食中毒になったね？

なぜ、よりによってそんな話をするのですか。これから食事をするというのに不吉な話をするものじゃ……。

ですから、その時に下痢が止まらなかった話もいいです。食事！しょーくじ！これから食事をするのです！

あなたはいつも下品な話を好んでする嫌いがあります、昔はそんな下品なかたじゃなかったはずなのに、年月というのはそら恐ろしいものですね。

え？子供が生まれてから？

まあ、そうでしょう、女性というのは、子供を胎内に宿した瞬間から別な生き物へと変化をはじめめるものです。女から母親になり、その後は、ほぼ例外なく定番のおばさんになってゆくものですから。

私だっておじいさんになったですって？

馬鹿を言うんじゃないありません！会社の部下からはいつまでも若いと評判なのです。あなたと違って私は社会の風に吹かれているのですから。

意味が分からない？

分かりました、あなたにも分かるように説明しましょう。

例えるならば、ぬかみそは毎日かき回すから腐りもせずぬかみそとして存在出来るのです。あなたのように家から出ずにゴロゴロして食っちゃ寝、食っちゃ寝では、社会の新鮮な風にかき回されることもなく、どんどん風味は消され、やがて腐り果ててゆくのです。

北海道へ出張に行けば、じゃがぼっくるに十勝おはぎを買って来い。京都に行けば、チョコ味

の八橋買って来い、沖縄に行けば豚の角煮買って来い・・・自分の足で探す努力もせずに部屋の中に根が生えたような刺激の無い生活では、おばさん化するのも当たり前でしょうに。

何？角煮じゃなくてラフティですって？

そんなものはどっちでも良いのです、角煮は角煮です、横文字を無理に使うんじゃないです。全く、あなたはいつも、ああ言えばこう言うのです。

話の根本が分かっていないその態度が、私の頭をこんなにも白くさせたのです。

だってそうでしょう？あなたはいつも小さな不満をいちいち私にぶつけてくる。洗濯物を出せばポケットに物が入ったままだ、確認しろと文句をいい。仕事が遅くなると食事が片付かないなどと文句をいう。

いいですか、あなたは主婦なのです。

私が会社で部下を統率して見守り、会社の未来を考え仕事をこなしているのと同じように、あなたは主婦と言う家を見守る仕事をしているのです。洗濯物のポケットを探るのも、いつ帰宅してもご飯を出すのも、あなたの仕事なのです。

そうだ、この際だからついでに言っておきましょう。

まずは風呂の温度です。

いいですか、お風呂というものは、いきなり熱い風呂に入るものじゃないのです、はじめはぬるく、体を洗ったあと最後の段階で温度を上げてゆけば、体の芯まで温まるものなのです。無駄に温度さえ上げておけばいいなどと適当な考えは、人体の仕組みも経済的効果も、それによる相乗効果も何もわかっていない。

それにです、あなたの作るカルピスは濃すぎるのです。

いいですか、以前に缶ジュースのカルピスが発売された時、日本中から苦情が来たのです、あんな濃さはカルピスじゃないと。

嘘だと思うのですか？嘘ではない、現にそのあとにカルピスライトという日本国民の舌に合う濃さのカルピスが発売されたのです。それは国民の総意から生まれたものだとは思いませんか？あの最初のカルピスの味の濃さで納得できるあなたは、絶対的な日本人の平均から味覚がかけ離れているのです。

それから犬の餌、餌を残したからといって次の日に上から足すんじゃないです。

いくらカリカリの餌だからと言って、一晩もたった餌など確実に風味も味も落ちているはずですよ。ましてや湿気が多ければ、水分を吸い、化学反応を起こして悪くなっているはずですよ、チャコちゃんはあるあなたのように賞味期限切れの食べ物を食しても大丈夫なほど、ざっくばらんなお腹はしていないのです。

.....おやま、私より先にワインを飲んでしまったのですか、まあいいでしょう、今日は、文句はこれくらいにしておきましょう。

何しろ結婚記念日ですからね。

それで？ワインの味はどうですか？

.....美味しい？.....それだけですか？

感想が「美味しい」だけでは、誰にもそのワインの良し悪しは判断できませんよ？もっと味の表現をあなたなりの言葉で.....

美味しいものは美味しいしかないですって？何ですかそれは、仮に幼稚園児に飲ませたところで、もっとまじな表現をするでしょうに。

.....いや、もちろん酒なんか幼稚園児に飲ませません、例えですよ、例え。

あなたは基本的にボキャブラリーが貧困なのです、あなたの頭の中の辞典にはその程度しかないからいかなのです。もっと本を読みなさい、少しは私の妻としての教養を身につけたほうが.....

何？「女性自分」を愛読している？だからだめなのです、あんな馬鹿なマスコミが書くルールだけに乗せられ、ヨンサマだの～王子だのつまらない話題ばかりの悪書です。言葉を駆使して飯を食っているはずの文章書きが書いているとは思えない、程度も低く、センスのかけらもない、日本語の使い方さえ間違っている文章を読んでいれば、ただでさえ知識もボキャブラリーもない頭の中が薄っぺらくなってしまいます。

料理が運ばれてきました.....まあ、いいでしょう結婚記念日なのだから、とりあえず話はそこまでにして食べなさい。

あなたは食べたことがないでしょうが、それはフォアグラというものです、そう、ガチョウの肝臓。

何？あん肝みたいな味？

.....フォアグラとあん肝では、まるで違うでしょうに、周りの人に聞かれたら恥ずかしいことを考えもせずに口にだすんじゃないですか、あなたは喋る前に一度言葉を確認してから口にしないさい。

比べたら分かるでしょう、この質感といい、舌触りといい。

何？私は豚の角煮とラフティを一緒くたにしたくせにだと？

そんなもの沖縄で作るかどうかだけの違いでしょう？あなたがガチョウとアンコウを同じ系統扱いにしたほうがよっぽど酷いでしょう、惨いでしょう。何しろ、空の物と海の物を一緒にしたのですから。

いいですか、あなたはカキの事を「海のミルク」アボガドの事を「森のバター」と言っている輩と同じくらい滑稽な事を言っているのです。ミルクが飲みたきゃ牛乳を飲みなさい！バターを食したければバターを素直に食べればいい。

.....何？ガチョウは飛べないから空の物と言えないですって？

そんな話はどうでもいいのです、例えです、た・と・え！そんな細かいことを言いだしたなら、世の中には海と陸の物しかなくなるじゃありませんか。

まあいいでしょう、とりあえずフォアグラが美味しいって感じただけまだマシです。

バカ舌ってわけではなさそうですから。

魚料理が運ばれてきました。

ほう、今日は甘鯛のムニエル、カレー風味のアーティチョーク添えですか。

……何？フランス料理なのにカレーを使うのは変だと？

あなたは、いちいち面倒くさい。

でしたらカレーライスだって、カレーうどんだって日本料理に含まれやしない、おかしい事でしょうに。

……そういえばカレーうどんで思い出しました。

うちで出てくるカレーうどんですが、本物のカレーうどんは出汁が入ることを知っているのですか？カレーライスの残りをうどんにかければカレーうどんになるわけじゃないのですよ？知っていたのですか？それとも、わざとやっていたのですか？

何ですか、その不機嫌そうな顔は、私はこの機会にあなたの直した方が良いところを指摘してあげているのです、ありがたく思いなさい。他人がここまで言うてくれますか？夫婦だからこそ、そこまで言えるのではないのでしょうかね？

今日の肉料理は、鳩か。

だから、何なのですか、その怯えた顔は！

ショックでナイフを床に落とすんじゃないありません、皆が振り返って見ているじゃないですか、ああ恥ずかしい。

あなたの考えていることは、長年の付き合いから大体に想像がつきます。鳩と聞かされ、公園に飛んでいるやつらでも思い浮かべたのでしょうか？鳩の糞による健康被害のニュースを昨日一緒に見たばかりですものね。だけど、これはその辺にいる鳩を捕まえてきたわけじゃありません、ちゃんと調理用に育てた鳩を使っているのです、安心して食べなさい。

……ゲテモノ料理とは何事ですか！

これに比べたら、あなたのお好きな「このわた」などはナマコの腸ですよ腸！不気味な消化器官をちゅるちゅるとすすっている行為が普通と言えますか？

そうそう、さらに言わせてもらえたなら、あなたのご実家を訪ねた際にテーブルの上に出されたものは何ですか、イナゴの佃煮ですよ？人間の食物として確実にありえませんかよ。

でもね、私は本気で嫌だったけれど文句も言わずに喉を通しました。本当はその夜は、イナゴの大群に襲われる夢にうなされるほど、トラウマになるくらい気持ちが悪かったのです。それでも口にしても文句の一つも言わなかったのはお義母さまとの関係を悪くさせないための気配り以外の何者でもありません！

……これが食べられなきゃ、もう二度とイナゴなんか食べてあげませんよ！

何ですって？食べなきゃいい？

ずるいじゃありませんか、これまでに私は何度もイナゴを口にしてきたというのに、あなたはたった一回出会っただけの鳩を口にしないと言うのですか？冗談じゃありません、それでは私だけが特別に損をしたことになり、私とあなたの生活の中で経験バランスが崩れることになる、不公平な事例になるじゃありませんか。

食べなさい！さあ、食べなさい！

嫌だなどと仰っても許しません、これだけは譲れません！こんなものイナゴに比べたらどうってことありませんもの……。

こら！おい！どこに行くのですか？

何、トイレで化粧を直して来るですって？

……ですから何度も繰り返し言うように、わざわざ作り直すほど、あなたの化粧など誰も見や・

行ってしまいましたね。

そんなに鳩が嫌なのでしょうか、わがままな人です。鳥の仲間なのだから別に構わないじゃありませんか。

そう言えば本日のコースにはエスカルゴが出てきませんでしたね。

百歩譲ってエスカルゴがダメだっていうのなら私も納得がいきましたが、あの人なら、でんでん虫は食べられたかも知れませんね、なにセイナゴを食す野蛮な家系で育ったのですから。

(妻はトイレに行ったきり、しばらく戻ってこなかった。鳩の料理は下げられ、テーブル上には最後のデザートが置かれていた。男はそれを見て、妻が好きそうなデザートだと思い、手を付けずに待っていた)

あの人は何をしているのでしょうか。

あの人が好きで甘いものだというのに。

しかし遅いです……まさかとは思いますが、仕方が無いですね、一度席を立って携帯に電話してみることにしましょう。いくらなんでも帰ってしまったなんて無礼までは働くはずもありませんが。

(男は席を離れ、人気のないところに移動して妻に電話をかけた)

もしもし、どうかしましたか？

今、どちらにいますか？デザートが運ばれて来ましたが。

何ですって？駅前？

どういことでしょうか、私に断りもなく勝手な行動を取らないでください。

付き合っていない？ふざけるんじゃない！料理のコース途中で姿を消すなど失礼にもほどがあるじゃありませんか、この店に対する侮辱とも取りかねられない最低の行為じゃありませんか！

うるせえ？……おやまあ！なんて汚い言葉使いをするのでしょうか、はしたない、それが旦那様に対して吐く言葉なのでしょうか。

離婚？……ちょっと待ちなさい、藪から棒に何ですか？何をそんなに怒っているのか知りませんが、勢いに任せて軽々しく口に出す台詞じゃありませんね、少し頭を冷やしなさい。

.....前から考えていた？

.....前からとはいつの事ですか、私は一切聞いておりません、あなたが勝手に頭の中で考えたことなど知るはずも無いでしょう？.....ともかく、電話ではらちがあかない、今すぐ戻ってきな  
さ.....。

本当は私が定年を迎えたら言うつもりだった？.....全く、何を言っているのですか、昨今は確かに熟年離婚が話題に取り上げられています、何もあなたまでブームに乗せられてそんな冗談を言う必要もないでしょう。愛読書の女性自分に洗脳されてしまってはいけませんよ。

.....何、うざい？そんな若者言葉を無理矢理に使用したところで私には通じませんよ。だからあなたはダメなのです、自分の言葉も持っていないから、世間に流されるまま、垂れ流された言葉を単純に取り入れてしまって.....

もしもし？もしもーし.....。

なんて人でしょう、電話を切ってしまいました。

仕方が無い、デザートだけいただいて帰ることにしましょう。何を怒っているのか知りませんが、単純なあこの人の事です、帰りにお土産でも買って帰れば、いつものあの人に帰ることでしょう、ですが私は謝りませんよ、今夜の私に何一つ悪い点などないのですから。

(男は席に戻り、チョコレートでコーティングされたデザートの飾りを眺めた。食べたらずぐにでも店を出ようと思ひ、懐の財布を取り出そうと手を入れる。その時、男は呆然として固まってしまった)

何ということでしょう。

財布がないじゃありませんか。

.....落ち着きましょう。まずは落ち着いて思い出しましょう。

仕事帰りに真っ直ぐここに来たのですから、会社に忘れてきたのかもしれませんが。そうです、帰る際に更衣室のロッカーの棚に財布を置いたのは確実に覚えていますから。

あそこに忘れたのは間違いありませんが、私もやはり大したものです。この年になると記憶を呼び覚ますのが大変な作業だと歳の近い友人にいつも聞かされますものですが、私に限ってはまだまだ若い脳を持った人間だと言うことがこれで証明されました。妻にも帰ったら言ってあげましょう、何しろあの人、もの忘れが激しいかたですからね。

おっと、それよりもここの支払いです。

カードで支払うつもりでしたから、少々困ってしまいましたね。常連でもないのですから、信用後払いと言うわけにもいきませんね。私としたことが失敗しました、ここではなくいつもの日本料理店にしておけばよかったのかも知れませんが、あそこなら、鳩も出なかったでしょうし・・・おっと、そんな事はどうでもいい、仕方がありません。妻に電話してお金を持って来て頂く事にしましょう。

なーに、あれから少し時間が経って、彼女の頭もいい加減に冷えたことでしょう。



ああ、私ですが、店に戻ってきなさい。

.....まだ怒っているのですか？もういいじゃないですか。

.....何ですって、うるさい？

.....分かりましたよ、鳩を無理矢理に食べさせようとした事は謝りますよ、これでいいのですか、十分に気は済みましたか？

.....鳩じゃない？.....鳩の件意外に私があなただを怒らせる事をしたと言うのですか？

おや、また離婚なんていうNGワードを使用するのですか・・・ですからもうそんな冗談はいいって言っているじゃないですか。いい加減にしないといくら温厚な私でもさすがに怒っちゃいますよ。

.....だから、分からない人ですね？そんなに怒るくらいなら最初から鳩が嫌いだって教えておいてくれれば良かったじゃないですか。

.....いい加減にきなさい！

全く、あなたって人はどうしてそんなに分からず屋なのですか、私があなたに文句を言われる筋合いはありません！あなたは私に対してどれだけ迷惑かけてきたと.....。

だから離婚などと馬鹿の一つ覚えの冗談はよしなさいって言っているのです！！

.....もういいです、また、頭を冷やしておきなさい！！

(そう言って電話を切った直後、すぐに自分の置かれた状況を思い出していた)

ですから、支払いをしなくてはいけないのです。その為に妻に電話したと言うのに、肝心な事を告げるのを忘れていました。嫌ですね、あれほど自分の記憶力を誇っていたばかりだというのに、少しばかり頭に血が上ると忘れてしまうようです。もう一度、彼女に電話してみましょう。

今度は言い争わないように、私が折れてさしあげます。

私だが、戻ってきなさい。

嫌だ、じゃありません、私が動けない以上あなたがここへ戻ってこないといつまでも日常生活には戻れなくなるのです。私が戻らないと、あなたはそれだけ家事の負担が増え、今日の睡眠時間が削られることになるのですよ。

どういふことですか？

実は私としたことが財布を会社に忘れて来てしまいまして、現在支払いが滞っている状態なのです。

.....何を笑っているのですか？笑い事ではないのです、このまま支払わないままだと犯罪者扱いされることもないわけではないのですよ？真面目に生きてきた私の人生に汚点を残すのはあなたに取っても望まないことでしょうか？

.....何？店の皿洗いでもやらせてもらえ？

全く、あなたは本当に何も知りませんね、場末のラーメン屋でもあるまいし、高級フレンチの店

にそんなシステムが存在するわけがないでしょうに、少しは社会の常識を覚えたほうがいい・・・。

.....ですから、それはあとで家に戻ってからお話することとしましょう。

.....分かっておりますよ、あなたにご足労願うのですから帰りにお駄賃をさしあげます。

.....何をくれるかですって？おや、やっとその気になっていただけたのですか、現金なカタです。別に夫婦なのだから、損得のないままで腰を上げて欲しかったのですが.....まあいいでしょう、あなたの好物の寿司折なんていかがですか？

.....鮭正の折り詰め？

馬鹿を言っちゃいけません、高級フレンチを食べたあのお腹でそんな高い鮭など本当の美味さの感動が薄れてしまうでしょう。

そうですね回転寿司にでも寄って頼むことにしましょう。

.....ともかく、頼みましたよ、お待ちしておりますから。

.....あっと、切っちゃいましたね、まあいいでしょう、何のかんの言っても来るに決まっています。

何もそんなに悪態をつかなくとも素直にはいと言えよよろしいのに。

素直じゃありませんね。

そうだ、せめてこのデザートだけは手を付けずに二つ差し上げることにしましょう。甘いものが好きなあの人のことですからきっと喜ぶことでしょう.....。

なにしろ、今宵は結婚記念日なのですから。

(熟年離婚は、年々増加の一方)

——離婚の理由のトップはいつでも性格の不一致が一番の理由。長年暮らした伴侶と性格が合わないことを今更、理由に挙げるのもおかしい話だが、結局は長い間ずっと我慢していたということなのでしょう。万人に結婚生活の極意とは？と聞かれれば誰もが真っ先に「我慢」と答えるはず。ただ、自分は我慢しているということを自覚出来ていても、相手が我慢していることを、はたして何人の人が気がついているのでしょうか。

(男は、誰も客のいなくなった店内で、水の入ったグラスだけが置かれたテーブル上を見つめ、汗を滲ませていた。通りすぎるウェ이터が男に冷たい視線を浴びせ眉が顰められるのを感じて、水をすする。男は意を決したようにウェ이터をテーブルに呼んで、重い口を開いた)

「あのお.....皿洗いなんて.....出来ますでしょうか？」

